



馬車道通信

～平成28年度 馬車道カレッジ～

みんなではじめる、
ボランティアの第一歩!



働く若者の

“はじめの一歩”

子どもが好き、
遊ぶのが好き、
食べることが好き!

第1回 8月26日(金) 19:00~21:00

- 活動についてのオリエンテーションを行います。
 場所:横浜市青少年育成センター(中区)
 内容:オリエンテーション、参加者同士の交流など

第2回 8月27日(土) 10:00~16:00

- 横浜の原風景が残る田んぼに出かけ、農作業を体験します。
 場所:舞岡公園 小谷戸の里(戸塚区)
 内容:農作業体験、自然活動、『谷戸鍋』作りなど

第3回 9月24日(土) 10:00~16:00

- 公園を活用した遊び場『プレイパーク』に出かけ、野外遊びをします。
 場所:綱ヶ崎公園 プレイパーク(港北区)
 内容:野外遊び、流しそうめんなど

第4回 10月15日(土) 9:00~13:00

- 子どもたちと遊ぶイベントを準備し、リーダーになって一緒に遊びます。
 場所:永田小学校 放課後キッズクラブ(南区)
 内容:子どもと遊ぶイベントの企画・実施など

◆活動場所(第1回会場)

横浜市青少年育成センター 第2研修室

◆対象

20~30歳代の社会人(先着20名)

◆参加費

2,000円(全4回分)

◆申込み

- ①氏名(フリガナ) ②連絡先(電話番号等) ③年代
- ④所属等⑤食物アレルギー等の有無をTEL/FAX、E-mailのいずれか、もしくは施設窓口でお知らせ下さい。(先着順)



居場所づくりのレシピ

～子ども・若者と大人の関係づくり～

子ども・若者にとって“家”でも“学校”でもない居場所はどのような空間なのでしょう。地域の大人の関わりについて、4つのそれぞれのテーマの話聞いて、自分のフィールドにあった活動のレシピを見つける連続講座です。

- 対象:青少年に関わる活動をしている方。
- 定員:20名
- 費用:2,000円(全4回)※700円/回 部分参加可
- 会場:横浜市青少年育成センター
- 申込み:氏名(フリガナ)、連絡先(TEL 又は E-mail)、職業等(所属)、参加希望回をTEL/FAX、E-mailでお知らせ下さい。(先着順)

■日程

- 1)「地球の大人が子ども・若者にできること」
 【日時】8月4日(木) 19:00~21:00
 【講師】萩原 健次郎 先生
 (駒澤大学教授/子ども・若者の居場所の研究者)
- 2)「初めて来る子との関係の作り方」
 【日時】8月25日(木) 14:00~15:30
 見学先:『綱ヶ崎プレイパーク』(港北区)
- 3)「“こども食堂”ネーミングの親に聞く
 ～地域との連携～」
 【日時】8月30日(火) 18:30~20:00
 【講師】近藤 博子 さん
 (東京都大田区『気まぐれ食堂だんだん』)
- 4)「デザインから見た居場所
 ～ひとつの工夫で変化する～」
 【日時】9月6日(火) 18:30~20:30
 【講師】齋藤 啓子 先生
 (武蔵野美術大学教授/視覚伝達デザイン、環境デザイン)



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『まるでバリヨガ』 (和室利用)

ヨガ、瞑想、呼吸法を行っています。身体と心が元気になるヨガクラスをしています。年齢、体の固さ等は関係がないので誰でもご参加ください。

(マルデさん 談)



馬車道 コラム Vol.43 スキャットさわやか！

大橋巨泉さんが亡くなった。巨泉さんというと、深夜のTV番組「11PM」が忘れられない。ジャズ好きの〈ジャズおやじ〉にとってジャズに関係した話題やプログラムがよく取り上げられていた。巨泉さん自身がジャズ評論家でもあった関係か、番組の最後には必ず、「サラブレッズ」というジャズバンドの演奏があり、〈ジャズおやじ〉はそれを楽しみにしていた。そこで演奏していたベースマンが、80歳という高齢ながら、現在も第一線で活躍されている根市タカオさんである。最近、浅草のライブハウスに時々伺うことがあり、「あとでちょっと一緒にやろうよ。」と誘って下さって、ステージで4～5曲ほどドラムを叩かせていただく。

「11PM」で一番印象的なのが、「シャバダバシャバダバ〜」といった何語かわからない言葉で最初から最後まで歌っているテーマ音楽である。ジャズでは「スキャット (Scat)」と言われる歌唱法である。昔、サッチモ (ルイ・アームストロング Louis Armstrong) がレコーディングの際、歌の歌詞を忘れてしまい、即興で歌ったのが、「スキャット」の始まりだと言われている。その後、あらゆる歌手が「スキャット」を用いてご機嫌なジャズを歌ってくれている。〈ジャズおやじ〉がご最良にしているジャズ・

シンガー、サラ・ボーン (Sarah Vaughan) のスキャットもいい。中でも「ジャスト・フレンズ (Just Friends)」という曲でのスキャットによるアドリブは、まるでアクロバット飛行を見ているような錯覚を起こすほど縦横無尽に展開される。サラ・ボーンはかつてオール・ハインズの楽団にセカンド・ピアニストとして、またビリー・エクスタインのバンドでチャーリー・パーカー、ディジー・ギレスピー、マイルス・デイヴィス、アート・レイキーらとキャリアを重ねていたことがある。このような人々との共演が彼女のアドリブの力に大きく影響しているのではないかと思う。

「歌詞を歌わないでいい加減な言葉で歌うとは、不謹慎だ！」と憤慨される方もいらっしゃるかもしれないが、その時の気持ちを自由に表現できる「スキャット」こそ、ジャズの醍醐味かも知れない。

そう言えば、大橋巨泉さんと最初の奥様であるジャズシンガー マーサ三宅さんとの間に生まれたお嬢さんの豊田チカさんの歌の伴奏をしたことがあったことを思い出した。巨泉さんに直接お会いしたことはないが、巨泉さんとの縁を感じる今日この頃である。

(ジャズおやじ)



7月より受付に入りました。横浜で暮らし始めて3ヶ月の白井と申します。当センターへは自宅から最寄りの駅まで階段を下ったり上ったり、立体の風景を見ながら歩くことが新鮮な毎日です。ご利用される皆さまから安心してお声をかけていただけるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



残暑お見舞い申し上げます！

暑いですねえ～！今年の夏は地球全体の温度が上がっているとのことで、世界的にきびしい暑さになるそうです。熱中症は子どもや高齢者に多くかかると思っていました。中間層もご用心！！かなりの割合で熱中症になる人がいるそうです。老いも若きも体調管理をしっかりしてこの暑～い 夏を乗り切りましょう！

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail:ikusei@yokohama-youth.jp

